

2019年3月1日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

DVBバンクの航空機ファイナンス関連事業の買収について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 平野 信行^{ひらの のぶゆき}、以下 MUFG）の子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}）は、MUFGの持分法適用会社である東銀リース株式会社とともに、ドイツ連邦共和国（以下 ドイツ）に拠点を置くDVB Bank SE（以下 DVB バンク）の航空機ファイナンス関連事業を譲受（以下 本譲受）することに同社と合意し、本日、資産譲渡契約（以下 本契約）を締結いたしました。なお、本譲受は、関係当局等の承認やその他の条件を満たすことを前提に、本年中の完了を目指しています。

三菱UFJ銀行は、本契約に基づき、DVB バンクより航空機ファイナンス関連事業における顧客向け貸出債権総額約56億ユーロ（2018年6月末時点の残高、1ユーロあたり127.91円で換算した場合、約7,163億円）のほか、従業員およびその他の事業基盤も譲受する手続きを進めてまいります。なお、DVBバンクの航空機インベストメントマネジメント事業および航空機資産管理事業については、東銀リースが新設する子会社にて譲受する予定です。

DVBバンクは、ドイツ第2位の資産規模を誇るDZ BANK AGの子会社で、航空機、鉄道、船舶市場における事業金融に特化したグローバルな金融機関です。航空機ファイナンス分野では、ナローボディ機やワイドボディ機を含む旅客機や貨物輸送機向けの融資およびその組成において世界有数の実績を持ち、総合的な金融ソリューションの提供や助言業務を行っています。DVBバンクの航空機インベストメントマネジメント事業は、ファンドマネジメントチームが航空機関連の投資アドバイザリー業務等へ注力しており、また、同社の航空機資産管理事業は、航空機のリマーケティングや技術管理でトップクラスの実績を有しております。

MUFGは、グローバル・コーポレート・インベストメントバンキング（以下 GCIB）事業において、航空機ファイナンス事業を成長の柱の一つに位置づけてまいりました。現在、三菱UFJ銀行では、世界5都市（東京、シンガポール、香港、ロンドン、ニューヨーク）に30名を超える専門チームを配置し、新中期経営計画においても戦略的注力分野として取組んでおります。本譲受を通じて、MUFGのGCIB事業におけるリターンの向上およびポートフォリオの分散を図ると同時に、航空機ファイナンス事業における顧客基盤の更なる拡大や高度な専門性を有する人材の獲得を実現することが可能となります。MUFGは、本譲受後、同事業におけるトッププレーヤーという地位を確立し、お客さまへのソリューション提供力を一層向上させてまいります。

《DVB バンクについて》

DVB バンクは、ドイツのフランクフルトの本社のほか、欧州各地（アムステルダム、アテネ、ハンブルグ、ロンドンおよびオスロ）、米州（ニューヨークとキュラソー）やアジア（シンガポールと東京）の主要国際金融センターおよび輸送の中心地にも拠点を有しています。

（DVBバンクのウェブサイト：www.dvbbank.com）

以上